様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	東京服飾専門学校
設置者名	学校法人池田学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
服飾専門課程	アパレル造形科 デザイナーコース 昼間部（2 年制）	夜 ・ 通信	1850 時間	80×2＝ 160 時間	
	アパレル造形科 パタンナーコース 昼間部（2 年制）	夜 ・ 通信	1850 時間	80×2＝ 160 時間	
	スタイリスト科 昼間部（2 年制）	夜 ・ 通信	1970 時間	80×2＝ 160 時間	
	モデル科 昼間部（1 年制）	夜 ・ 通信	890 時間	80×1＝ 80 時間	
	ファッションビジネス科 昼間部（2 年制）	夜 ・ 通信	1755 時間	80×2＝ 160 時間	
	アパレル技能科 衣装製作コース 昼間部（2 年制）	夜 ・ 通信	1850 時間	80×2＝ 160 時間	
	専攻科　昼間部（1 年制）	夜 ・ 通信	925 時間	80×1＝ 80 時間	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HP にて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で教員の実務経験に関するチェック欄あり（掲載：）https://www.tfac.ac.jp/school_info/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	東京服飾専門学校
設置者名	学校法人　池田学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

HP 掲載 (https://www.tfac.ac.jp/school_info/)

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	広告写真制作会社社長	2022.11.2 ～ 2026.11.1	教育内容に対するアドバイス
非常勤	メーカー　取締役	2022.11.2 ～ 2026.11.1	教育内容における専門知識
非常勤	メーカー　デザイナー	2022.11.2 ～ 2026.11.1	教育内容における専門知識
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京服飾専門学校
設置者名	学校法人池田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）
アパレル技能科昼間部（２年制）、アパレル造形科昼間部（２年制）、スタイリスト科昼間部（２年制）、ファッションビジネス科昼間部（２年制）モデル科昼間部（1 年制）専攻科昼間部（1 年制）
【作成について】
各授業科目については、毎年２回行われる教育編成委員会のご意見をふまえて各科ごとにカリキュラム会議を行い、授業科目の設定や講義内容についての検討・検証をおこなう。その後、各授業を担当する教員がカリキュラム会議での内容に沿ったシラバスの作成を行なっている。学内の教員用内規（シラバス作成の方法と手引き）の中で授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標、テーマ、講義概要、授業計画（各回の授業プラン）、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は全科目共通で記載することが必須となっており、学内統一様式でシラバス作成を行っている。
【時期について】
翌年度のシラバスは、２月末に担当教員が作成し、３月の職員会議にて正式決定する。４月下旬に年間シラバスを HP 上に公開する。

授業計画書の公表方法	HP 掲載：https://www.tfac.ac.jp/school_info/

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

学則において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。
各学科で定める授業科目の試験・参加意欲・授業課題評価により成績評価を行っている。
（参考）
学則別表 1
1700 時間以上の履修時間を納めていること、及び各科目の総合評価が６以上であること。
学則 16 条　（卒業・修了の認定）
校長は、教育課程の定めるところにより、学年ごとに修了すべき学科目について試験を行ない、合格者に対して当該学科目の修了を認定する。ただし、実習については実習の成績によって修了を認定することができる。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 当校では各授業の評価を 100 点満点を基準として、60 点以上を合格としている。 合格者の中でも、評価点数により 100～96 を 10、95～90 を 9、89～80 を 8、79～70 を 7、69～60 を 6 として、成績が通知される。 各授業の成績評価を既定の数値に置き換え、1 授業あたりの平均成績を算出する。 各成績は S(4 点)、A(3 点)、B(2 点)、C(1 点) に換算する。GPA は(S の授業数×4+A の授業数×3+B の授業数×2+C の授業数 ×1)の合計を、各学生が履修済みの総授業数で、除した値を求めることによって算出する。 成績評価については、学則細目を HP で公開するほか、入学時のオリエンテーション内で新入生に説明を行っている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	HP 掲載：https://www.tfac.ac.jp/school_info/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 東京服飾専門学校は、ファッション業界での即戦力となる人材を育成し、学外から多くの業界関係者を招き、産学協同授業や企業研修にも力を入れて社会に貢献することを目的としている。 　卒業要件については、各学科が定める所定の全授業科目を所定の年次に全て合格することを定めている。詳細については学則等に記載し、HP に公表している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	HP 掲載：https://www.tfac.ac.jp/school_info/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	東京服飾専門学校
設置者名	学校法人　池田学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年６月中旬ごろに最新情報をHPで公開している (https://www.tfac.ac.jp/school_info/)
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	服飾専門課程	アパレル造形科 デザイナーコース	○	－

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700単位時間／単位	342.5単位時間/単位	205単位時間/単位	932.5単位時間/単位	単位時間/単位	370単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40人	26人	1人	11人	2人	13人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の３【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の３【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） ・クラス担任制を用いて、担任による個別面談や進路相談、就職担当による面接指導等 ・長期休暇期間中に補習・補講を行い、修得の均一化を図る

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21 人 （100%）	4 人 （　19%）	12 人 （　57.1%）	5 人 （　23.8%）
（主な就職、業界等） 株式会社ストライプインターナショナル、株式会社タカラ、 株式会社 TSI ホールディングス、株式会社さが美、株式会社シャワーパーティー			
（就職指導内容） 就職ガイダンス授業を１年次より行い、毎回企業人事、OBOG を招いての講演会や 合同説明会への参加を行っている。就職担当による個別相談、面接練習も随時対応。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・色彩検定・洋裁技術検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42　人	11 人	26%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学業不振		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学期ごとに担任と個人面談を行い、学校生活や私生活の状況を聞き取りしている。 転科コース変更制度。再入学制度によるフォローアップ		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
服飾・家政		服飾専門課程	アパレル造形科 パタンナーコース		○		－
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1700 単位時間／単位	342.5 単位時間/単位	147.5 単位時間/単位	1025 単位時間/単位	単位時間/単位	335 単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人	21 人	0 人	11 人	2 人	13 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照

卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4.を参照
学修支援等
（概要）・クラス担任制を用いて、担任による個別面談や進路相談、 就職担当による面接指導等 ・長期休暇期間中に補習・補講を行い、修得の均一化を図る

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
５人 （100%）	０人 （　　0%）	３人 （　　60%）	２人 （　　40%）
（主な就職、業界等）株式会社 TOKYO　BASE、株式会社 CONER　PRINTING、 株式会社ドレステーブル			
（就職指導内容） 就職ガイダンス授業を１年次より行い、毎回企業人事、OBOG を招いての講演会や合同説明会への参加を行っている。就職担当による個別相談、面接練習も随時対応。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・パターンメーキング検定・色彩検定・洋裁技術検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16 人	１人	6%
（中途退学の主な理由） 学業不振		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学期ごとに担任と個人面談を行い、学校生活や私生活の状況を聞き取りしている。 転科コース変更制度。再入学制度によるフォローアップ		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	服飾専門課程	スタイリスト科	○	ー

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700単位時間／単位	600単位時間/単位	212.5単位時間/単位	582.5単位時間/単位	単位時間/単位	455単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
100人	96人	0人	13人	16人	29人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

（概要）
様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）
様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

（概要）・クラス担任制を用いて、担任による個別面談や進路相談、
就職担当による面接指導等
・長期休暇期間中に補習・補講を行い、修得の均一化を図る

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
45人 (93.8%)	1人 (　2.2%)	29人 (　64.4%)	15人 (　33.3%)

（主な就職、業界等）スタイリストアシスタント、東京衣裳株式会社、
(株)アストリア、（株）シャワーパーティー、（株）ストライプインターナショナル

（就職指導内容）
就職ガイダンス授業を１年次より行い、毎回企業人事、OBOGを招いての講演会や合同説明会への参加を行っている。就職担当による個別相談、面接練習も随時対応。

（主な学修成果（資格・検定等））
・色彩検定

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
101 人	8 人	7.9%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学業不振		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学期ごとに担任と個人面談を行い、学校生活や私生活の状況を聞き取りしている。 転科コース変更制度。再入学制度によるフォローアップ		

分野		課程名	学科名			専門士	高度専門士
服飾・家政		服飾専門課程	モデル科			ー	ー
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	925 単位時間／単位	267.5 単位時間/単位	125 単位時間/単位	87.5 単位時間/単位	単位時間/単位	445 単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
10 人	9 人	0 人	3 人	13 人	16 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要）・クラス担任制を用いて、担任による個別面談や進路相談、 就職担当による面接指導等 ・長期休暇期間中に補習・補講を行い、修得の均一化を図る

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 (87.5%)	1 人 (14.3%)	3 人 (42.9%)	3 人 (42.9%)

（主な就職、業界等） 株式会社フォリオマネジメント、株式会社 SOS モデルエージェンシー、劇団球
（就職指導内容） 就職ガイダンス授業を１年次より行い、毎回企業人事、OBOG を招いての講演会や合同説明会への参加を行っている。就職担当による個別相談、面接練習も随時対応。
（主な学修成果（資格・検定等）） ・特になし
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8 人	1 人	12.5%
（中途退学の主な理由） 留年		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学期ごとに担任と個人面談を行い、学校生活や私生活の状況を聞き取りしている。 転科コース変更制度。再入学制度によるフォローアップ		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
服飾・家政		服飾専門課程	ファッション ビジネス科		○		－
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1700 単位時間／単位	710 単位時間/単位	532.5 単位時間/単位	510 単位時間/単位	単位時間/単位	97.5 単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
100 人	67 人	0 人	17 人	12 人	29 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照

学修支援等
（概要）・クラス担任制を用いて、担任による個別面談や進路相談、就職担当による面接指導等 ・長期休暇期間中に補習・補講を行い、修得の均一化を図る

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
42 人 (97.7%)	0 人 (　　0%)	25 人 (　　58.1%)	18 人 (　　41.9%)

（主な就職、業界等） 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド、株式会社 TSI ホールディングス 株式会社キャン、株式会社　ストライプインターナショナル、株式会社アズノゥアズ
（就職指導内容） 就職ガイダンス授業を１年次より行い、毎回企業人事、OBOG を招いての講演会や合同説明会への参加を行っている。就職担当による個別相談、面接練習も随時対応。
（主な学修成果（資格・検定等）） ・ファッションビジネス検定・ファッション販売検定・色彩検定
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
80 人	5 人	6.3%

（中途退学の主な理由） 進路変更、一身上の都合
（中退防止・中退者支援のための取組） 学期ごとに担任と個人面談を行い、学校生活や私生活の状況を聞き取りしている。 転科コース変更制度。再入学制度によるフォローアップ

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	服飾専門課程	アパレル技能科 衣装製作コース	○	-

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1700 単位時間／単位	220 単位時間 /単位	205 単位時間 /単位	937.5 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	487.5 単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
100 人	122 人	0 人	13 人	2 人	15 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要） 様式第２号の３【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の３【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4.を参照
学修支援等
（概要） ・クラス担任制を用いて、担任による個別面談や進路相談、 就職担当による面接指導等 ・長期休暇期間中に補習・補講を行い、修得の均一化を図る

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
56 人 (94.9%)	14 人 (25%)	28 人 (50%)	14 人 (　　25%)
（主な就職、業界等） 株式会社サンシェル、株式会社玉屋、株式会社共栄繊維、株式会社東宝コスチューム 株式会社フォルムアイ、有限会社ビーシーコスチューム、株式会社ビックママ			
（就職指導内容） 就職ガイダンス授業を１年次より行い、毎回企業人事、OBOG を招いての講演会や 合同説明会への参加を行っている。就職担当による個別相談、面接練習も随時対応。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・パターンメーキング検定・色彩検定・洋裁技術検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
128 人	11 人	8.6%
（中途退学の主な理由） 進路変更、体調不良、一身上の都合		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学期ごとに担任と個人面談を行い、学校生活や私生活の状況を聞き取りしている。 転科コース変更制度。再入学制度によるフォローアップ		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	服飾専門課程	専攻科	－	－

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	925 単位時間／単位	57.5 単位時間/単位	0 単位時間/単位	680 単位時間/単位	0 単位時間/単位	187.5 単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
30 人	16 人	0 人	7 人	1 人	8 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第 2 号の 3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照

成績評価の基準・方法

（概要）
様式第 2 号の 3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）
様式第 2 号の 3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照

学修支援等

（概要）
・クラス担任制を用いて、担任による個別面談や進路相談、
就職担当による面接指導等
・長期休暇期間中に補習・補講を行い、修得の均一化を図る

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
10 人（100%）	0 人（ 0%）	5 人（50%）	5 人（ 50%）

（主な就職、業界等）
株式会社八洲、株式会社クアトロ、株式会社メルローズ、
株式会社ヤジマ、PMC PERMANENT

（就職指導内容）
就職ガイダンス授業を１年次より行い、毎回企業人事、OBOG を招いての講演会や
合同説明会への参加を行っている。就職担当による個別相談、面接練習も随時対応。

（主な学修成果（資格・検定等））
・パターンメーキング検定・色彩検定・洋裁技術検定

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学期ごとに担任と個人面談を行い、学校生活や私生活の状況を聞き取りしている。 転科コース変更制度。再入学制度によるフォローアップ		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
アパレル造形科 昼間部（2 年制）	150,000 円	580,000 円	320,000 円	
スタイリスト科 昼間部（2 年制）	150,000 円	580,000 円	320,000 円	
モデル科 昼間部（1 年制）	150,000 円	580,000 円	320,000 円	
ファッション ビジネス科 昼間部（2 年制）	150,000 円	580,000 円	320,000 円	
アパレル技能科 昼間部（2 年制）	150,000 円	580,000 円	320,000 円	
専攻科 昼間部（1 年制）	0 円	290,000 円	290,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

b）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 前年度評価について、学校 HP に公開している https://www.tfac.ac.jp/school_info/
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
学校関係者として、関係企業や卒業生を含む学校関係者評価委員会を組織して、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行っている。評価内容は理事会、運営部、教育内容検討委員会などで報告され、次年度以降の改善に取り組んでいる。
学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
元大学教員	R5 年 5 月 1 日から 4 年	学識経験者
アパレル協会勤務	R5 年 5 月 1 日から 4 年	業界団体
組合役員	R5 年 5 月 1 日から 4 年	地域
アパレルメーカー勤務	R5 年 5 月 1 日から 4 年	卒業生
デザイン会社勤務	R5 年 5 月 1 日から 4 年	企業
メーカー勤務	R5 年 5 月 1 日から 4 年	企業

学校関係者評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 前年度評価について、学校 HP 公開している。 https://www.tfac.ac.jp/school_info/
第三者による学校評価（任意記載事項）

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.tfac.ac.jp

（別紙）

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H113311600039
学校名	東京服飾専門学校
設置者名	学校法人　池田学園

1．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		60人	59人	60人
内訳	第Ⅰ区分	37人	40人	
	第Ⅱ区分	11人	15人	
	第Ⅲ区分	12人	―	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				60人

（備考）

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	—
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）		0人	0人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況		—	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	—
計		—	—

（備考）

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間		前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
３月以上の停学	0人
年間計	—

（備考）

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人

（備考）

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）		0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１		15人	—
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計			

（備考）

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。